

職員による自己評価

A環境面

コロナ過となって以来、おやつ時間を分散し飛散予防パネルを設置しました。活動と目的に合わせてスペースを設定し、落ち着いた環境で取り組めるように配慮しています。

B児童への支援内容

毎日の朝礼で申し送りをし、ミーティング・カンファレンスの中で問題やその為の改善策を話し合い、その対策方法で子どもに対応してみる。スタッフ全員で共有し同じ支援をする。スタッフノートに記録して大切な連絡事項を共有できるようにしています。

C関係機関との連携

・放課後デイサービスの管理者等で集まり、勉強会を開き療育活動や支援における相談など幅広く話し合いをしています。

D保護者への説明責任・信頼関係

どんぐりん通信で毎月のお知らせ、報告、スタッフ紹介、プログラムなど掲載したものをお渡しします。利用時の連絡帳で子どもの様子や活動内容を伝えています。

E非常対応

年2回避難訓練、防災のお勉強活動の一環として防災センター見学。

保護者による評価

A環境面

・道路に面してなく外に出ても危なくない。周りの環境がいい。

・手すりバリアフリー、重心の子がいないので問題ないと思う。

B児童への支援内容

・毎回どんぐりんへ行くことを楽しみにしています。

・安心してお任せできる。

・毎回楽しみにしている。

・放デイに保護者会を望む親は少ないと思う。

C事業所からの情報発信

・放課後児童デイなど交流を放デイにしてほしいと思っていない。

D非常対応

・避難訓練実施2回、(非常対策全員、はいに○がありました)

・面談をしていない。

・ホームページ画像処理をせず子どもの写真を掲載している。

事業所内での分析

【共通点】

・コロナ過もあり、面談を希望する場合の連絡方法などの保護者との意思疎通ができていなかったところがありました。

・どんぐりん通信の他に活動報告を作成し写真から様子がわかるような配布物をお渡ししました。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・新たに療育教材「すてむぼっくす」を導入しました。
- ・個別療育、週ごとにプログラムを実施して子ども達が楽しめるような企画を立案実施している。(運動・製作・すてむぼっくす・リトミック・SST など)
- ・毎月のミーティング、カンファレンスで子供たちの振り返り、問題点、対策、具体的に改善策を話し合い共有したことを日々の活動に反映している。
- ・昨年オムツトレーニングしていたが、毎回成功できている。など成功できていることが多々あり、訓練の繰り返しを大切にしている。

事業所の改善点

- ・送迎時に、自分の勝手な主観で保護者を惑わすことを伝えないよう話し合いました。
- ・ホームページの児童の写真にぼかしを入れました。
- ・面談をコロナのこともあり、保護者の皆様に判断をゆだねてきましたが、新年度は、個別支援計画に際しての面談を。取り組んでまいります。

事業所の改善への取り組み

- ・毎日、朝の朝礼で子どもの人数、親御さんからの連絡事項、体調変化、お休みの理由、送迎の配置等を申し送りし、今日の活動の流れを伝えて、全員が把握し活動に入る。
- ・新しい職員が増えたこともあり、写真つきで全員の資格等がわかるよう保護者に配布しました。
- ・毎日の子ども達一人一人の様子で変わったことなど、報告事項をスタッフノートで共有できるように記録しています。
- ・モニタリング作成に際して、カンファレンスで日頃の様子等の話し合いをしています。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・毎日の申し送り（朝礼）や毎月のミーティング・カンファレンス、日々の役割分担、注意事項などを共有することで事故防止に努めていくことが大切です。
- ・支援の仕方が、自己主導にならないよう、児童に寄り添い時に児童目線にたって考え、安心して過ごし、療育活動が円滑にできるよう職員全員で色々な支援を考えていきたいです。

事業所名 放課後等デイサービスどんぐりん

担当者 管理者 新井裕子